

今年、選挙権が十八歳まで引き下げられた事により、私は初めて選挙へ参加しました。私は初めて選挙に臨み、その中で感じた事が二つありました。

一つ目は選挙権に関する厳重な管理です。私の誕生日は参議員選挙の投票日の前日でした。その為、選挙のハガキがいつ送られて来るか分かりませんでした。今は、事前投票もできる為、ハガキが送られて来るとすぐに投票も行けます。しかし、私が十八歳になるのは投票日の前日ですので事前投票を行うとしたらまだ十七歳でした。するとハガキは九日の朝に送られてきました。父の分も母の分も事前に送られていた為、私の分が誕生日に送られてきたのは偶然では無いのはよく分かりました。それと同時に選挙権の管理の厳重さを身にしみて感じました。

二つ目は投票をする施設についてです。選挙の当日私は最寄りの学校へ投票をしに行きました。その学校は、投票所となっている体育館まで階段がありましたが、その他にもスロープがありました。案内の人も入口を入るとすぐに見え迷う事はありませんでした。体育館は土足でも大丈夫でとても選挙のしやすい環境でした。スロープが多く設置されていた為、車いすの方やお年寄りの方でも、とても利用しやすいように思えました。

私はこの二つの事を通して、投票するのがより投票を行いやすいように国はできる限りの配慮をしているのだと改めて思いました。その分投票をする人は、面倒という理由だけで選挙に参加しないのは自分勝手すぎると思いました。一票だけでは結果は変わらないかもしれませんが、投票するという事が国の政治への参加になると思います。自分たちの国だからこそ、一人一人が選挙に参加し、同時に国の政治へ参加をする事は大切だと思います。これからの日本を担う若い世代の私達が、もっと政治に感心を持つことで選挙に参加する人を増やし、国民一人一人が国を考える様になったらいいと思います。